

5年生 Lesson 9 What would you like? 第2時



準備物 (授業前に、めあての「レストラン」「自分」以外の部分を板書しておく。子どもは注文するものを1~2つ決めておく。)

- ・ 写真カード
- ・ 名札 (店員, 客)
- ・ 学習プリント (自分のメニューを貼る欄, ふりかえり欄)
- ・ 料理, 飲み物の写真の縮小コピー (人数分用意し, カットしたものを封筒に入れておく)

1	<p>前の単元で出てきた “What do you want?” と本単元の “What would you like?” の違いを確認する。</p> <p>① 「家族」「友達」「学校の先生」等の札を持った子どもに対して、教師 (HRT または ALT) が “What do you want?” と “What would you like?” を使い分ける。</p> <p>② どうして違うのかを考え、「ため口 (友達口調)」や「敬語」といった意見を全体で共有する。</p>
2	<p>ペアで Small Talk を行う。 ※ 内容については別紙参照</p> <p>① HRT と ALT によるデモンストレーションを見たり、教師と数名の子どもでやり取りをしたりする。</p> <p>② ALT の後に続いてリピートする。</p> <p>③ ペアで Small Talk を行う。</p>
3	<p>めあて「レストランでの英語を使って自分のメニューを注文したり、ペアの人の注文を聞き取ったりしよう。」</p>
4	<p>前時で「担任の先生のために作ったメニュー (Harada sensei GREAT MEAL)」を示し、このままでよいか考える。</p> <p>① 教師は “How about this menu? (このメニューのことをどう思う?)” “I think Harada sensei will be thirsty. (原田先生は喉が渇きそう。)” 等を投げかけ、子どもからのアドバイスを促す。</p> <p>② 教師は “How about ice coffee?” “How about hot milk?” と尋ねて “How about ~?” をくり返し使いながら、メニューに付け加える飲み物を一緒に考える。</p> <p>③ 教師は “Nice idea!” “Good advice!” を努めて使い、子どもに聞かせるようにする。</p>
5	<p>本時は自分のためのメニューを注文することを確認する。</p>
6	<p>HRT と ALT によるデモンストレーションを見て、店員がなぜ客の注文をくり返すのか考える。</p> <p>※ 内容については別紙参照</p>
7	<p>ペアで互いに注文し、料理や飲み物のカードを渡す。 ※内容についてはデモンストレーションと同じ</p>
8	<p>渡されたカードを学習プリントに貼り、MEAL 名 (カタカナでよい) を付ける。</p>
9	<p>ふりかえる (めあてを守ることができたか)。</p>

学習活動1「英語にも丁寧な表現があることに気付く」ところでは、対象を多くしすぎたり、敬語かどうかあやふやな相手 (例: 親戚) が含まれていたりしたため、分かりにくくなってしまった。3~4つに絞ってくり返した方が有効だったのではないかと思う。また、日本語による説明も加えながら全員に分かるようにする必要があった。また、今後もチャンツや実際のやり取りのなかで “What would you like?” を使って尋ねたり “How about ~?” を使って友達にすすめたりする英語への慣れ親しみをくり返していく必要がある。

## Small Talk

A: Good morning.

B: Good morning.

A: How are you?

B: I'm cold.

A: Cold. I see. What would you like?

B: I'd like a wool sweater and a heater.

A: Here you are.

B: Thank you. How are you?

A: I'm fine.

B: Fine. Good. What would you like?

A: I'd like a cheese hamburger steak.

B: OK. Here you are.

A: Thank you.

## 注文する場面のデモンストレーション (店員役 : W 客役 : C)

W: Hello.

C: Hello.

W: What would you like?

C: I'd like a seafood pizza.

W: Seafood pizza. Here you are. (料理や飲み物のカードを渡す)

C: Thank you.

W: What would you like?

C: I'd like strawberry cake.

W: Strawberry cake. Here you are. (料理や飲み物のカードを渡す)

C: Thank you. This is my HAPPY MEAL. (カードを見せる)

How about my menu?

W: Good. How about juice?

C: No, thank you. I have a stomachache.

W: How about hot tea?

C: Thank you.

W: Here you are. (料理や飲み物のカードを渡す)

C: Thank you. This is my menu.

W: Nice menu.

※ すすめられて「要る」なら “Thank you.”, 「要らない」なら “No, thank you.” と答えることを確認する。

# 5年生 外国語活動「What would you like?」第2時

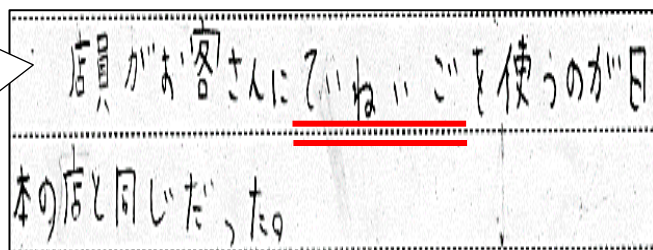
自分の注文したいものを英語を使って伝えたり，店員になって他の料理をすすめたりしました。この単元でも互いの英語をしっかりと聞き取ろうとすることが大切です。

## 〈使った英語〉

**What would you like? I'd like miso soup.  
rice ball, parfait, grilled fish など，料理を表す英語  
coffee, juice, water など，飲み物を表す英語  
How about my menu? How about hot milk?  
Nice (idea). Good advice.**

前の単元で出てきたのは“What do you want? (何がほしい?)”でした。


今回はほしいものをたずねるときに“What would you like?”を使います。なぜでしょうか。




- ① 店員が“What would you like?”で注文したいものをたずねる。
- ② 客が“I'd like ~.”で注文する。(①と②を2回行う。)
- ③ 客は完成したメニューを店員に見せる。
- ④ 店員は“How about ~?”で料理や飲み物をすすめ、客はその提案を受けたり断ったりする。

## What would you like?


(自分) へのメニューを考えよう  
スペシャ) MEAL



ice cream



sushi



beefsteak

**デリシャス MEAL, パーフェクト MEAL, JAPAN MEAL などもありました。**



## How about my menu?

「英語でしっかり言えた」「ペアの人として楽しかった」「自分のメニューができた」という人も、「英語が少し難しかった」という人もいました。またくり返し言ったり聞いたりしましょう。